

G・S科の学習について（第3学年）

1 G・S科の目標

- 日本語と外国語の違いに気付き、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身につける。
- 外国語で自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力をつける。
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2 学習計画

1学期	2学期	3学期
<ul style="list-style-type: none"> ○現在完了形（完了・経験・継続） ○ask(tell/want)～to... ○It is ～for+人 to... ○主語+be 動詞+形容詞+that～ ○間接疑問 ○tell+人+間接疑問 ○tell+人+that ～ ○道案内 ○call+人+名詞 ○make+人+（形容詞/動詞の原形） ○ディベート 	<ul style="list-style-type: none"> ○現在分詞の後置修飾 ○過去分詞の後置修飾 ○関係代名詞(who/which/that)主格 ○関係代名詞(which/that)目的格 ○仮定法過去(be 動詞/一般動詞) ○I wish～ ○ディスカッション 	<ul style="list-style-type: none"> ○Reading 学習 ○3年間のまとめと復習

3 評価の観点 評価の資料

観 点	学習活動及び評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> • 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解する。 • 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につける。 小テスト、定期テスト、パフォーマンステスト 等
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> • コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて日常的な話題や社会的な話題について、外国語で話されたり書かれたりした簡単な情報や考えなどを理解したり、簡単な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝え合ったりする。 小テスト、定期テスト、パフォーマンステスト、グループでの話し合い 等
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> • 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図る。 • 言語活動への取り組みに関して見通しを立てたり振り返ったりして、自らの学習を自覚的に捉える。 ノートやレポート等における記述、授業中の発言、生徒による自己評価や相互評価 等